

世帯と人口

(10月1日現在)

世帯 42,126 (-9)
 人口 116,570人(+8)
 男 59,853人(-15)
 女 56,717人(+23)

広報えびな

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

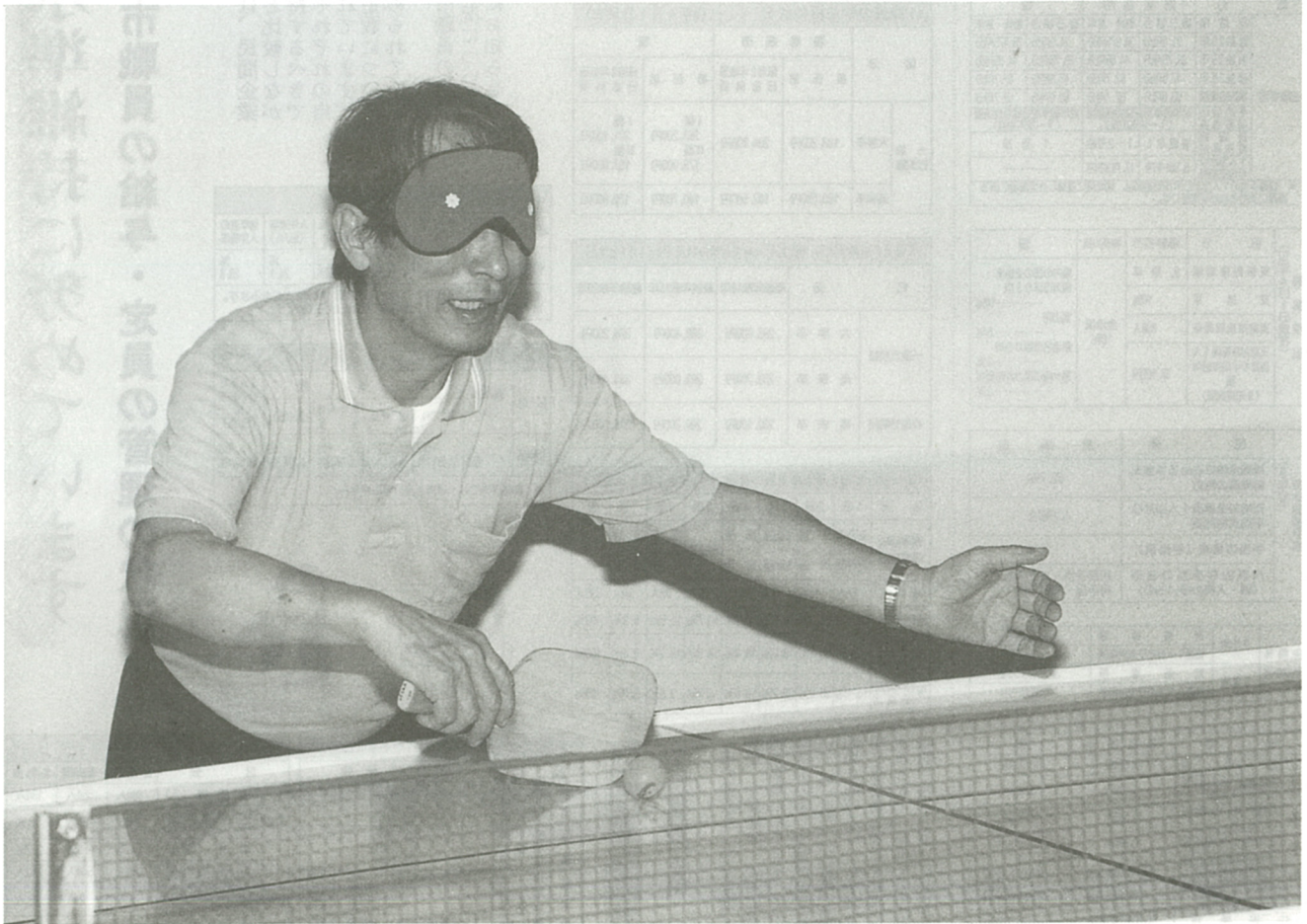
〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地

☎ (0462) 31・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。



スズの音楽し卓球の妙

卓球との出会いで人生を張りのあるものに変えた。今では、多くの人たちとふれあい卓球の楽しさを勧めている市内・望地に住む宮村達也さん(61歳)のスポーツ人生をお届けします。

今月7・8日 全国障害者スポーツ ゆめ大会 代表に

「大会出場が決まってからは、多くの人たちから『頑張つてね』と声をかけられます。プレッシャーがないといえはうそになりますが、多くの人たちの協力で続けてこられた卓球の楽しさを、この大会を通じて、さらに多くの人たちに知ってもらえたらうれしいですね」と話す宮村さんは、今月7日、8日、川崎市とろきアリーナで行われる「第34回全国身体障害者スポーツ大会」がわゆめ大会」卓球の部に、大谷の桜井靖明さんとともに神奈川県代表選手として出場します。

元来スポーツが好きな宮村さんは、40歳直前に視力を失いましたが、奥さんの勧めもあり、その後も小田原市で開かれた視覚障害者のマラソンなどに参加して来ました。卓球と出会ったのは、昭和59年、厚木市の福祉センターで行われていた講習会に参加したのが最初でした。「健常者の卓球と違うところは、細かい錫が入ったボールを使い、ネットの下を転がして通過させる打ち方をすること。アイマスクをした選手は、ボールの中の錫の音を聞いて打ち合いますが、一度ゲームをしただけで、その楽しさに惹かれました」以後、横浜や七沢のライトセンターに赴いては卓球の腕を磨く日々が続きました。

月2回「やまびこの会」で活動

平成元年、海老名市に転入して驚いたことは、卓球台などは施設にあっても、卓球を行う人がいなかったことだそう。宮村さんは早速、「やまびこの会(視覚障害者の会)」に卓球の楽しさを呼びかけ、協力を得て、同会の中で卓球のクラブを結成。以後、月2回は市総合福祉会館で活動を続けています。

こうした活動は市内にとどまらず、横浜、藤沢などへ足を運び、交流ゲームを繰り広げるうちに多くの仲間ができ、宮村さんの技術も上達。「第33回県障害者スポーツ大会」では1位となり、関東大会にも出場しました。

「大きな大会には、各地で知り合った仲間も出場しますが、お互い『癖』を知っているので戦いにくいですね。でも、それ以上に、『やあ、また会えたね』と会場で談笑できるのが一番の楽しみです」

今は卓球の練習一筋ですが、「ゆめ大会」の後は本格的に水泳に挑戦してみたい、という宮村さん。将来、「ゆめ大会」に出場するときは、種目は水泳になつているかも…。



練習の合間にボランティアの方々と談笑する宮村さん(左端)

創造・発展

産業まつり開催



第22回産業まつりが、11月22日(日)午前10時から市役所で開催されます。農産物品評会、肉魚・野菜の即売、各種アパレル・ファッションなど、楽しみながら市の産業について知ることが出来る催しをたくさん用意しました。ぜひ、皆さんでお越しください。

11月22日(日)



農業部門

- 農産物品評会 一般公開…10時～ 即売…13時～
- ポン菓子サービスコーナー
- もちつき大会
- パターゴルフゲームコーナー
- さつき展示・即売
- 野菜・植木等即売
- 花の即売・サービスコーナー(バラ、カーネーション)
- 子牛・子豚・鶏の展示
- 豚汁コーナー
- アユの塩焼きなどの販売
- 農産物加工品試食・販売コーナー…いちごジャムなど
- 農業委員会相談コーナー…いちご苗無料配布
- 農協コーナー…おにぎり配布、農器具展示など

海老名の産業

まちかど ニュース

県安全運転競技会 準備中!



10月3日、運転技能テストなどで日ごろの実力を競う、県自動車安全運転競技会が行われ、普通自動車Aの部で、市消防本部の郷上美津男さんが優勝しました。

商工部門

- 特売市・食肉・鮮魚・青果・菓子など食品・雑貨・履き物・衣料・木製品などの販売
- 販売促進・酒・年賀はがきなどの販売、商店連合協同組合による組合商品券3倍セール
- 模擬店：コーヒー・焼き鳥・そば・うどん・フライドチキンなど
- チャリティバザー、チャリティもちつき大会
- 工作教室、木製プランター製作教室、包丁研ぎ教室(有料)
- 工業製品展示会、パソコン教室、インターネット体験
- 相談コーナー：自動車・防災・住宅・水道・ガスなど
- マイカー点検教室

雨天 10時～15時 市役所で

催し物



アトラクション

- ピエロショー「クラウン&ジージ」
1回目…10時20分～
2回目…12時40分～
- 物まねそっくりショー「ゴジララクス山」「小林SABUちゃん」
1回目…11時～
2回目…13時20分～
- キャラクターショー「星獣戦隊ギンガマン」
1回目…11時50分～
2回目…14時～

問い合わせ 産業まつり 実行委員会事務局 (市商工課内・内512)



有病息災?

「体の具合はどうですか」と時々、知人の何人かに聞かれます。確かに、平成5年に一ヶ月入院したことがありましたが、気づかずに過ごしたことに感謝しております。

好。私自身、本当に不思議に思っています。と言います。今までは年に1回ほど胃がもたれ、むかつくことがあり、内視鏡検査をしたものでした。結果は、軽度の潰瘍で、服薬により治癒してしまいましたが、「年齢的にみても大過ぎ(本人は、太り気味?のつもり)である」とも、検査数値が全て正常値の範囲内であるとは思っていません。医師から言われています。

もともと、私のカード入れには、5枚の診察券が入っていますが、今は「無病息災」より「有病息災」の時代であると思っています。私自身、健康管理ができていないと思っています。NTVのおもいっきりテレビ「はなまる」に「はなまる」のコーナーがあり、そこには「はなまる」のコーナーがあり、そこには「はなまる」のコーナーがあります。

●多田広場「ファンアジャングルパワース」
●資源回収コーナー…空き缶、牛乳パックの回収
●低公害車普及コーナー、交通安全コーナー
●消防による起震車体験コーナー

適正な水準維持に努めています

市職員の給与・定員の管理の状況

地方公務員の給与は、民間企業や国家公務員の状況と比較しながら、適正な水準を維持するべきであるとされており、それぞれの自治体の条例で定められています。また同様に、職員の定数についても自治体の条例で定められています。

(3) 職員の平均給料月額及び平均年齢の状況(10年4月1日現在)

区分	一般行政職		技術業務職		消防職	
	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
海老名市	345,272	39.7	283,607	45.6	320,793	38.2
国	315,850	39.3	283,812	47.8	335,000	40.8

(4) 職員の初任給の状況(10年4月1日現在)

区分	海老名市		国	
	初任給	採用2年経過後の給料	初任給	採用2年経過後の給料
一般行政職	183,200円	204,800円	183,200円	201,100円
技術業務職	150,500円	162,500円	140,700円	150,500円

(5) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況(10年4月1日現在)

区分	経験年数10年			経験年数15年			経験年数20年		
	平均給料月額	人数	割合	平均給料月額	人数	割合	平均給料月額	人数	割合
一般行政職	293,000円	293,000人	37.4%	338,400円	338,400人	37.4%	374,200円	374,200人	37.4%
技術業務職	238,200円	238,200人	38.400%	283,000円	283,000人	38.400%	328,300円	328,300人	38.400%

(6) 一般行政職の級別職員数の状況(10年4月1日現在)

区分	級別							計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	
職員数	27人	145人	88人	103人	78人	62人	34人	538人
構成比	5.0%	27.0%	16.4%	19.1%	14.7%	11.5%	6.3%	100%

(7) 昇給期間短縮の状況

区分	全職員			一般行政職			消防職		
	職員数(A)	昇給人数(B)	割合	職員数(A)	昇給人数(B)	割合	職員数(A)	昇給人数(B)	割合
10年度	888人	554人	62.4%	168人	99人	59.0%	134人	3人	2.3%
9年度	888人	544人	61.3%	168人	99人	59.0%	134人	0人	0.0%

(8) 特別職の報酬等の状況(10年4月1日現在)

区分	給料月額等	
	職員数	総額
市長	1人	930,000円
副市長	2人	740,000円
収入役	2人	700,000円
職員の報酬	538人	538,000円
市長交代費	1人	451,000円
市長退職金	1人	422,000円

(9) 部門別職員数の状況(各年4月1日現在)

区分	職員数		対前年増減率	主な増減理由
	職員数	対前年増減		
総務課	10	0	0%	職員の異動
企画課	4	0	0%	職員の異動
民生課	10	0	0%	職員の異動
健康課	1	0	0%	職員の異動
工務課	1	0	0%	職員の異動
土木課	1	0	0%	職員の異動
計	24	0	0%	

(9) 職員手当の状況

区分	海老名市		国	
	支給額	支給率	支給額	支給率
期末手当	1.99分	0.9分	1.99分	0.9分
勤続手当	0.55分	0.55分	0.55分	0.55分
計	4.05分	1.9分	4.05分	1.9分

(10) 職員の1人当たり平均給料月額(10年4月1日現在)

区分	海老名市		国	
	支給額	支給率	支給額	支給率
職員全体に占める平均支給額	52.7%		52.7%	
支給対象職員1人当たり平均支給月額(9年度決算)	35,102円		35,102円	

(10) 職員の1人当たり平均給料月額(10年4月1日現在)

区分	海老名市		国	
	支給額	支給率	支給額	支給率
職員全体に占める平均支給額	52.7%		52.7%	
支給対象職員1人当たり平均支給月額(9年度決算)	35,102円		35,102円	

(10) 職員の1人当たり平均給料月額(10年4月1日現在)

区分	海老名市		国	
	支給額	支給率	支給額	支給率
職員全体に占める平均支給額	52.7%		52.7%	
支給対象職員1人当たり平均支給月額(9年度決算)	35,102円		35,102円	

(10) 職員の1人当たり平均給料月額(10年4月1日現在)

区分	海老名市		国	
	支給額	支給率	支給額	支給率
職員全体に占める平均支給額	52.7%		52.7%	
支給対象職員1人当たり平均支給月額(9年度決算)	35,102円		35,102円	

(10) 職員の1人当たり平均給料月額(10年4月1日現在)

区分	海老名市		国	
	支給額	支給率	支給額	支給率
職員全体に占める平均支給額	52.7%		52.7%	
支給対象職員1人当たり平均支給月額(9年度決算)	35,102円		35,102円	

(1) 人件費の状況(普通会計決算)

区分	職員数		人件費		前年度の職員数
	職員数(A)	割合	人件費(B)	割合	
9年度	11人	1.1%	31,807,111円	7.5%	24.1%

(2) 職員給与費の状況(普通会計予算)

区分	職員数		給与費		1人当たりの給与費(B/A)
	職員数(A)	割合	給与費(B)	割合	
10年度	11人	1.1%	1,007,100円	1.7%	91,555円

(11) 定員管理の適正化・管理方法

市業務は、地方分権 権限 移譲、介護保険への対応など、増加傾向にあります。このような状況の中、市職員の定数については、「最小の経費で最大の効果をあげる」ことを基本に、常に事務量と要員の確保に把握すること、簡便で効率的な市政執行体制の確立に努めています。

(11) 定員管理の適正化・管理方法

市業務は、地方分権 権限 移譲、介護保険への対応など、増加傾向にあります。このような状況の中、市職員の定数については、「最小の経費で最大の効果をあげる」ことを基本に、常に事務量と要員の確保に把握すること、簡便で効率的な市政執行体制の確立に努めています。

(11) 定員管理の適正化・管理方法

市業務は、地方分権 権限 移譲、介護保険への対応など、増加傾向にあります。このような状況の中、市職員の定数については、「最小の経費で最大の効果をあげる」ことを基本に、常に事務量と要員の確保に把握すること、簡便で効率的な市政執行体制の確立に努めています。

(11) 定員管理の適正化・管理方法

市業務は、地方分権 権限 移譲、介護保険への対応など、増加傾向にあります。このような状況の中、市職員の定数については、「最小の経費で最大の効果をあげる」ことを基本に、常に事務量と要員の確保に把握すること、簡便で効率的な市政執行体制の確立に努めています。

(11) 定員管理の適正化・管理方法

市業務は、地方分権 権限 移譲、介護保険への対応など、増加傾向にあります。このような状況の中、市職員の定数については、「最小の経費で最大の効果をあげる」ことを基本に、常に事務量と要員の確保に把握すること、簡便で効率的な市政執行体制の確立に努めています。

平成9年度主な実施事業

▼子育て支援センターのある中新田保育園



▲国分寺台文化センター・ケアセンター

区分	事業名	事業費 (単位:万円)	概 要
総務費	国分寺台文化センター建設事業	23,586	コミュニティセンターの補完的施設として平成8年度から事業に着手し、国分寺台ケアセンターとの複合施設で平成10年3月に完成しました。
	市民活動サポートセンター等設置事業	2,806	ボランティア等の自主的な市民活動育成のため、県から無償譲渡された厚木保健所海老名支所の建物を改修し、わかば作業所との複合施設で平成9年9月に完成しました。
	合併処理浄化槽設置整備事業	1,035	水質汚濁と生活環境悪化を防止するため、指定地域内に合併処理浄化槽を設置するものに補助金を交付し、設置促進を図りました。
民生費	保育所入所措置事業	86,294	小学校就学前の保育を受けることができない児童を市内外の公立保育所に措置し、児童の健全な育成を図りました。
	保育所建設事業	29,397	良好な保育環境の確保を図るため、老朽化した中新田保育園の改築を行い、あわせて同施設に子育て支援センターを設置しました。
	精神薄弱者施設入所措置事業	25,961	18歳以上の知的障害者に対して、更正に必要な生活指導、作業及び訓練等を行い、社会的自立の促進を図りました。
	障害者地域作業所指導訓練事業	12,383	市内3作業所において、就労困難な在宅の心身障害者へ生活訓練及び作業訓練を行い、自立への指導と援助を行いました。
衛生費	救急医療確保対策事業	8,642	夜間及び休日・祝祭日における救急診療及び休日・祝祭日の夜間における歯科の救急診療等を実施し、市民の健康保持に努めました。
	高圧清掃施設組合運営事業	123,072	高圧清掃施設組合事業の円滑な運営を図るため、運営費の一部を負担し、生活環境の保全・公衆衛生の向上を図りました。
	資源分別回収奨励金事業	1,255	各世帯に対し自治会ごとに奨励金を交付することにより、資源分別の適正処理と資源有効利用が図られました。
労働費	労働者資金融資事業	24,400	労働者資金に運用資金を預託し市内労働者の資金需要に充て、生活安定・福祉向上を図るため低利で資金を融資しました。
農林水産業費	農道整備事業等	6,839	農道の整備により農業者の円滑な通行と安全が確保されました。
	用水排水路等設備事業	3,161	水路等の整備をしたことにより、通水能力及び生産性の向上が図られました。
商工費	中小企業事業資金融資事業	26,600	市商工会、商中会及び市内金融機関に事業資金を預託し、中小企業者に対する融資の利便を図り、経営の近代化などを促進しました。
	道路維持補修事業	45,018	舗装補修、排水・甲冑等の補修工事により、交通の安全確保と生活環境の向上を図りました。
	道路改良舗装事業	84,074	幹線道路や生活道路の新設と改良舗装をはじめ、歩道及び安全施設などの設置を行いました。
土木費	道路用地購入事業	91,722	市内交通の混雑を解消し、地域間の住環境の向上を図るため、道路用地の買収を実施しました。
	排水路整備事業	49,875	都市排水路の改善整備を行い、流下機能を高め浸水の防止や公衆衛生の向上を図りました。
	都市下水道整備事業	31,965	市街地拡大ともなう雨水被害の防止と公衆衛生の向上を図るため、都市下水道の整備を実施しました。
	北部公園整備事業	17,363	市内北部のスポーツ・レクリエーション及び防災の拠点となる公園の、用地買収並びに各種広場の一部工事を実施しました。
消防費	消防車両整備事業	17,657	老朽化した消防ポンプ自動車・梯子車・査察車各1台を最新鋭の車両に更新し、消防力の強化を図りました。
	消防水利設置事業	7,074	地震災害等に対応するため、市街地で水利不足の地域に耐震性防火水槽及び消火栓を設置し、消防水利を充実強化しました。
	飲料水兼用貯水槽整備事業	12,221	非常用飲料水を確保する貯水槽(100%)を2基増設し、防災対策の充実強化を図りました。
教育費	有馬小学校校舎防音改造事業	50,457	航空機騒音を軽減し、教育環境の向上を図るため、平成8年度から継続事業で校舎の防音改造事業を実施しました。
	海西中学校校舎耐震補強事業	22,009	耐震耐力度調査の結果に基づき、校舎の耐震補強工事を実施し、教育施設の安全を確保しました。
	海西中学校校舎改修事業	59,652	老朽化した校舎の改修工事、耐震補強工事とあわせて実施しました。
	相模国分寺跡環境整備事業	6,055	前年度に引き続き、第2次工事として中門・廊下地区整備工事などを実施し、史跡の保存及び活用を努めました。
	相模国分寺跡維持管理事業	11,368	相模国分寺跡を歴史公園化するため、民有地の買収などに努め、史跡の保存を図りました。

問い合わせ 財政課 (内321)

特別会計決算額

国民健康保険事業

前年度に比べると歳入が2.0%、歳出が4.9%それぞれ伸びました。国保税が歳入全体44.7%を占め、前年度に比べ22.7%の増となっております。保険給付費及び老人保健拠金は、歳出全体の96.4%を占め、前年度に比べ4.7%増加しました。また、新たに人間ドック費用の助成も始めました。

〈歳入〉 (単位:万円)			〈歳出〉 (単位:万円)		
款	収入金額	構成比(%)	款	支出金額	構成比(%)
国民健康保険税	206,723	44.7	総務費	10,005	2.2
国庫支出金	139,353	30.1	保険給付費	335,651	74.4
療養給付費交付金	65,407	14.1	老人保健拠出金	99,166	22.0
県支出金	1,680	0.4	共同事業拠出金	4,796	1.1
共同事業交付金	7,834	1.7	保健事業費	752	0.2
財産収入	67	0.0	基金積立金	67	0.0
繰入金	31,820	6.9	公債費	0	0.0
繰越金	8,886	1.9	諸支出金	598	0.1
諸収入	1,214	0.2	予備費	0	0.0
合計	462,984	100.0	合計	451,035	100.0

下水道事業

前年度に比べると歳入が1.1%、歳出が1.0%それぞれ減少しました。9年度は、総延15.5%の下水道を敷設し、50.3%を整備して、下水道の普及による生活環境の向上を図りました。人口普及率は86.2%です。

〈歳入〉 (単位:万円)			〈歳出〉 (単位:万円)		
款	収入金額	構成比(%)	款	支出金額	構成比(%)
分担金及び負担金	9,023	1.7	総務費	89,023	17.7
使用料及び手数料	92,861	17.8	事業費	306,781	61.1
国庫支出金	34,000	6.5	公債費	106,713	21.2
県支出金	735	0.2	予備費	0	0.0
繰入金	183,092	35.2	合計	502,517	100.0
繰越金	19,091	3.7			
市債	177,140	34.0			
合計	520,733	100.0			

老人保健医療事業

前年度に比べると歳入が5.9%、歳出が5.4%それぞれ伸びました。医療費は、前年度に比べ5.3%増の37億2,223万円、一人当たりの医療費支出額は約59万円となり、前年度に比0.9%減少しています。なお、平成9年度の平均受給者は6,237人(前年度に比べ6.2%増)です。

〈歳入〉 (単位:万円)			〈歳出〉 (単位:万円)		
款	収入金額	構成比(%)	款	支出金額	構成比(%)
支払基金交付金	250,902	65.1	総務費	2,789	0.7
国庫支出金	78,828	20.4	医療費	372,223	98.1
県支出金	20,126	5.2	公債費	0	0.0
繰入金	31,176	8.1	諸支出金	4,363	1.2
繰越金	4,363	1.1	予備費	0	0.0
諸収入	341	0.1	合計	379,375	100.0
合計	385,736	100.0			

市債の現在高

区 分	10.3.31 現在高			10.4.1~10.9.30 借入額 償還額 未償還額		
	借入額	償還額	未償還額	借入額	償還額	未償還額
総務債	568,859	10,000	12,406	566,453		
民生債	48,391	21,900	1,256	69,035		
衛生債	68,461	0	1,300	67,161		
土木債	758,763	9,400	23,683	744,480		
消防債	39,381	3,250	2,963	39,668		
教育債	566,858	16,300	22,642	560,516		
住民税等減税補てん債	422,000	0	9,316	412,684		
計	2,472,713	60,850	73,566	2,459,997		
公共下水道債	1,186,202	150,770	13,318	1,323,654		
相模川流域下水道債	226,012	18,570	5,159	239,423		
特別会計計	1,412,214	169,340	18,477	1,563,077		

基金の状況

基金名	現在高	備考
財政調整基金	36,552	現金
庁舎等維持管理基金	301,928	〃
高齢者福祉基金	52,256	〃
奨学金基金	11,374	〃
土地開発基金	31,045	〃
〃	18,166	土地
〃	0	貸付金
公共施設整備基金	12,484	現金
まごころ基金	13,008	〃
みどり基金	2,173	〃
駅周辺整備基金	154,877	〃
国民健康保険財政調整基金	26,580	〃
国民年金印刷購入基金	500	〃

市有財産

区 分	土 地	建 物
市庁舎	17,023	15,879
消防施設	11,640	5,448
学校	338,465	115,915
公営住宅	27,756	5,071
保育園	8,900	2,258
児童館	3,662	518
公民館	-	1,866
公園	322,155	16,114
その他の施設	132,316	57,219
小計	861,917	220,442
田	0	-
畑	303	-
宅地	23,157	-
雑種地	3,679	-
その他の地目	198	-
建物	-	663
小計	27,337	663
合計	889,254	221,077

平成9年度決算

(単位:万円)

会 計 名	歳入決算額	対前年度 伸び率(%)	歳出決算額	対前年度 伸び率(%)
一 般 会 計	3,326,889	0.4	3,180,711	0.2
特別会計	462,984	2.0	451,035	4.9
国民健康保険事業	462,984	2.0	451,035	4.9
下水道事業	520,733	△1.1	502,517	△1.0
老人保健医療事業	385,736	5.9	379,375	5.4
合 計	4,696,342	0.8	4,513,638	0.9

一般会計決算額

諸収入 9億4,924万円 其他 23億4,610万円

歳入 332億6,889万円

歳出 318億711万円

歳入 332億6,889万円

歳出 318億711万円

歳入 332億6,889万円

歳出 318億711万円

歳入 332億6,889万円

歳出 318億711万円

歳入 332億6,889万円

歳出 318億711万円

歳入 332億6,889万円

歳出 318億711万円

歳入 332億6,889万円

歳出 318億711万円

歳入 332億6,889万円

歳出 318億711万円

歳入 332億6,889万円

歳出 318億711万円

歳入 332億6,889万円

歳出 318億711万円

歳入 332億6,889万円

歳出 318億711万円

歳入 332億6,889万円

歳出 318億711万円

歳入 332億6,889万円

歳出 318億711万円

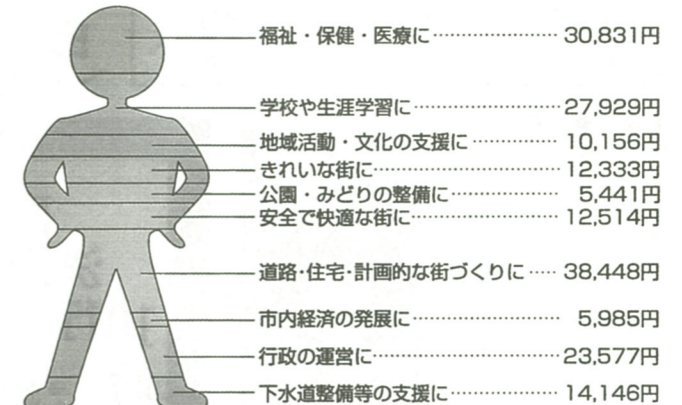
わがまちの財政事情

9年度決算

市では、財政状況をみなさんに知っていただくために、公表を行っています。今回は、平成9年度決算の概要と、平成10年度予算の上半期の執行状況などについてお知らせします。平成9年度決算は、一般会計及び特別会計を合わせて、歳入が469億6,342万円、歳出が451億3,638万円となりました。そのうち一般会計の決算は歳入が332億6,889万円、歳出が318億711万円となり、前年度との比較では、歳入が0.4%、歳出が0.2%とそれぞれ増額となりました。なお、一般会計年度内に歳計現金が不足した場合にそれを補うために借り入れる「一時借入金」の現在高は、9月30日現在ありません。

あなたの税金このように使われました

市民1人当たりが納めた市税 181,360円 (人口114,679人) の使みちは次のとおりです。



※割合は高さで表示してあります。
※市税とは、個人・法人市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、特別土地保有税、都市計画税をいいます。なお、都市計画税は都市計画事業又は土地整理事業に要する費用にあてる目的税です。
※人口は平成10年3月1日現在、市税の額は平成9年度決算額によります。

10年度の執行状況 (平成10年9月30日現在)

〈特別会計〉

〈歳入〉 (単位:万円)			〈歳出〉 (単位:万円)		
款	予算現額	収入金額 執行率(%)	款	予算現額	支出金額 執行率(%)
国民健康保険税	226,159	89,589 39.6	総務費	10,283	4,873 47.4
国庫支出金	138,034	54,808 39.7	保険給付費	360,151	125,601 34.9
療養給付費交付金	73,754	23,465 31.8	老人保健拠出金	122,689	51,171 41.7
県支出金	900	0 0.0	共同事業拠出金	5,126	1,281 25.0
共同事業交付金	6,645	1,792 27.0	保健事業費	1,345	476 35.4
財産収入	83	72 86.7	基金積立金	83	72 86.7
繰入金	53,840	37,840 70.3	予備費	22	0 0.0
繰越金	1,949	1,949 100.0	諸支出金	1,068	717 67.1
諸収入	480	121 25.2	予備費	1,077	0 0.0
合計	501,844	209,636 41.8	合計	501,844	184,191 36.7

〈一般会計〉

〈歳入〉 (単位:万円)			〈歳出〉 (単位:万円)		
款	予算現額	収入金額 執行率(%)	款	予算現額	支出金額 執行率(%)
市 税	2,069,490	1,101,029 53.2	市 債	29,000	8,116 28.0
地方譲与税	29,000	8,116 28.0	利子割交付金	12,000	5,874 49.0
地方消費税交付金	126,500	69,695 55.1	特別地方消費税交付金	800	0 0.0
自動車取得税交付金	45,000	10,647 23.7	地方交付税	10,000	0 0.0
交通安全対策交付金	3,000	1,752 58.4	交通安全対策交付金	3,000	1,752 58.4
分担金及び負担金	37,410	13,173 35.2	分担金及び負担金	37,410	13,173 35.2
使用料及び手数料	40,096	18,115 45.2	国庫支出金	117,600	37,420 31.9
国庫支出金	187,765	37,420 19.9	県支出金	112,122	21,605 19.3
県支出金	112,122	21,605 19.3	繰入金	3,317	3,958 119.3
繰入金	515	342 66.4	繰越金	100,851	46,436 46.0
繰越金	100,851	46,436 46.0	繰越金	117,600	146,178 124.3
繰越金	117,600	146,178 124.3	諸収入	109,200	5,220 4.8
諸収入	109,200	5,220 4.8	市 債	100,477	0 0.0
市 債	100,477	0 0.0			



渋谷 巴菜ちゃん 1歳

お兄ちゃんとお姉ちゃんが好き。早く帰ってこないかな。(東柏ヶ谷、渋谷清・奈緒美さんの2女)



山口 勇太ちゃん 11カ月

どこに行くにもいつもパパの抱っこなんだ。パパ大好き。(国分北、山口順一・友恵さんの長男)



後藤 奈菜ちゃん 1歳1カ月

音楽大好き!!好きな歌がかかると体をフリフリ踊ります。(東柏ヶ谷、後藤努・奈津子さんの長女)

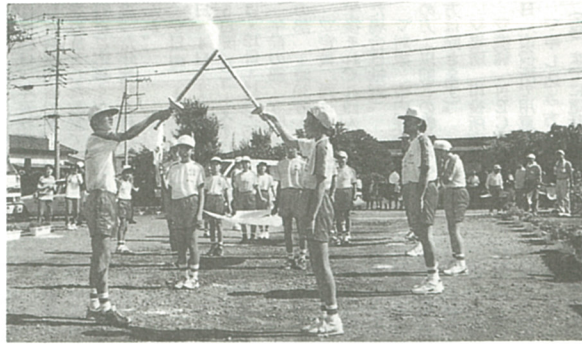


半戸 沙ちゃん 1歳

お祭り好きのおちやめな娘。我が家の暴れん坊將軍です。(大谷、半戸功一・奈女さんの長女)

きんぎょの赤ちゃん

このコーナーに掲載を希望する方は... 電話で広報広聴課(内271)に申し込んで下さい。ただし、申し込み時点で1歳未満の赤ちゃんに限り。なお、申込数が多く掲載できない場合もあります。



燃える炬火よ「ゆめ」の火よ

10月19日、かながわ・ゆめ国体の炬火リレーが行われ、沿道から温かい声援を送られながら「母なる相模川の火」と「銀河の火」は合火地点の中央公園をめざし疾走。力強く燃える火はみんなの心にも火を灯してくれました。

フォトピックス



リアルさに驚く

9月19日~27日、市民ギャラリーで「熊田千佳展」が行われました。展示作品の花や昆虫の精密画は実物と見間違ふほど。素晴らしい出来映えに見学者もびっくり。

10月11日、相模国分寺の本尊、「薬師瑠璃光如来」の12年に1度のご開帳に伴って、稚児行列が行われました。進行人たちは「かわい〜」の歓声があがっていました。



お姫様のお通りだ

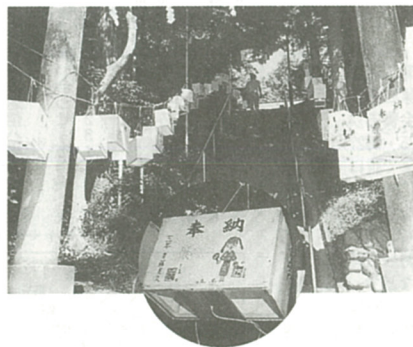


大山のぶ代さん

海老名市は昭和60年12月17日に「平和都市宣言」を行いました。以来、講演会、映画会等の事業を実施し、世界の恒久平和と核兵器の廃絶の実現を願っています。今年「21世紀へ伝える平和な地球」をテーマとして、「平和のつどい」を開催します。当日は、女優・声優として、また水の研究者

12月13日に「平和のつどい」

としても活躍され、テレビでもおなじみの大山のぶ代さんを講師に迎え、地球環境の話の中から市民レベルの平和についてお話していただきます。公演後は、アニメ映画の「地球をよこす」を上映しますので、ぜひ、ご来場ください。
▽日時 平成10年12月13日(日)午後1時30分~4時50分(開場は午後1時)
▽会場 市文化会館大ホール
▽内容 第1部 講演会「地球にやさしい、平和な暮らし」講師 大山のぶ代さん 第2部 映画上映「ものけぢや」※地球平和パネル展も開催
▽対象 市内在住・在勤の方
▽定員 1100人
▽入場料 無料
▽申込方法 電話受付(先着順)
▽申し込み・問い合わせ 企画課(内284)



夏休みの思い出を灯ろうに

10月13日、大谷八幡宮の祭礼で、大谷子供会の小学生82人が夏休みに書いた絵を灯ろうにして参道を飾り、訪れる人たちの目を楽しませていました。

事故なし願って

秋の交通安全運動の一環で、事故「無し」に語呂をあわせて、「梨」を事故防止の啓発チラシとともに配布しました。



楽しい仲間

炬火リレー合火式で創作ダンスを披露 スタジオダンスエチュード



の高きで共に成長していくことを基本としています。活動としては、市民文化祭への出演や発表会などを行っているほか、10月19日に海老名中央公園での、炬火リレー合火式のアトラクションとして、歓迎の創作ダンスを披露しました(写真左上)。「夢の扉」というテーマで、小学生から高校生までの21人が、ゆめ国体のエネルギーを見事なダンスで表現しました。



「創作ダンスは、あるテーマやストーリーなどから展開していくもので、型にはまったものではなく、踊り方の違いで自分を自由に表現できる楽しいものです。これからも、ダンスの魅力が少しでも多くの人に広がってほしいと思います。」と見守る。興味のある方は連絡(☎38・1902)をしてください。

「ダンスを通して人との協調性を大切にして、思いやりの心を持つてほしい」と話すのは、本郷で創作ダンスを教える、スタジオダンスエチュードの二見知里さん(本郷在住)・左写真左端。二見さんは夫の「一幸さん」とともに小学生から大人まで50人を、それぞれ経験や年齢に合った指導をしています。レッスンは、踊るための身体をつくり、テクニックや表現力、激しい動きに耐える精神力を身につけるために、独自のスタイルで練習しています。方針は、あれこれ命令するのではなく、それぞれの自発性にまかせ、同じ目

思いやりの心を養う

総合福祉会館に赴き、宮村さんの練習を拝見。室内はボールが転がる際、中の錫がたたる「サラサラ」という音、ラケットの「ゴ

編集後記

ン」という音が交互に響きわたる、静寂の中に心地良い緊張感が、それにしてもラリーの応酬の速さにはびっくり。(1)